

平成 26 年 1 月 20 日

第 2 回和地小学校・堀切小学校・伊良湖小学校統合準備委員会 会議録

日時	平成 26 年 1 月 20 日 (月) 14 時 00 分～16 時 20 分
場所	和地小学校コンピュータ教室
出席者	教育長 嶋津隆文 委員 (22 名) 小久保昌彦、高瀬勲、小久保健一、荒木宗春、河合昌史、河合芳広、 高瀬常和、鈴木武、粕谷義明、内藤康宏、間瀬和幸、間瀬雅栄、河合俊英、 田口博子、尾澤明敏、小久保映子、大倉恭子、鵜飼亜由子、石橋梨恵、 藤城信幸、糟谷幹生、河合正人、横田威 事務局 (5 名) 前田教育部長、中村教育総務課長、山本学校教育課長、渡会生涯学習課長、 中村政策推進課長
欠席者	なし
傍聴者	8 人
	裏山の現地確認
事務局	開会
委員長	(委員長あいさつ) 教育長に出席いただいておりますので、あいさつをお願いします。
教育長	(教育長あいさつ)
委員長	ありがとうございました。 先ほどは、裏山の現地を見ていただきました。 はじめに、和地小学校の急傾斜地対策について、藤城校長から説明をお 願いします。
和地小 藤城校 長	(資料 3 により説明)
委員長	ありがとうございました。 質疑については、後ほどにしたいと思います。 それでは、次に協議事項の小学校の校名に入ります。 小学校の校名について、説明をお願いします。
事務局	(資料 1 により説明)
委員長	説明が終わりましたが、ご質問等ございましたらお願いします。
委員	日出地区での会合があり、その場での皆さんに小学校名について確認し たところ、伊良湖岬小学校という賛成の意見がありました。
委員	伊良湖地区でも同じ意見でした。
委員長	ほかにございませんか。 ないようですので、校名案については「伊良湖岬小学校」としたいと思 いますがご異議ございませんか。
	(異議なし・拍手)

委員長	<p>ご異議ないようですので、校名案については、「伊良湖岬小学校」に決定いたしました。</p> <p>教育委員会へ校名案を報告させていただきます。</p> <p>次に新設小学校の候補地について、説明をお願いします。</p>
事務局	(資料 2 により説明)
委員長	<p>説明が終わりましたが、3 校区で要望した渥美運動公園付近の候補地は、地権者が約 20 人と多く、買収手続きに時間がかかり、費用も多くなるということで、新しく岬中北側の案が提出されました。このことについては、各校区での説明会を開催するとのことではありますが、ご質問等ございましたらお願いします。</p>
委員	岬中北側は、この地権者 2 名の土地でできるのか。
事務局	1 人当たりの面積が多いためです。
委員	地権者が 2 人なら買収の手続きも早く進みますね。
事務局	渥美運動公園付近は 20 人の地権者には、相続の発生しているところもあり、時間がかかると予想される。
委員	このように場所を会議で公開した場合に、地権者などの混乱が起きる心配はないか。
事務局	<p>これは、気を使う点でありますので、少なくとも岬中北側の 2 人の地権者には、会議で公表すること議論することについて、内諾を得ております。</p> <p>20 人については、場所も確定をしていないので、出すことはないですが小塩津の皆さんには、分かってしまうこととなりますね。</p>
委員	岬中北側の案が初めて提案され、中学校の裏に建てようと思っていたことが、岬中北側に決まればいい案だと思います。
事務局	<p>平成 32 年度までには、新しい学校を移すことを当初から目標としておりました。和地小のまま学校が残るのではと心配される方もいます。3 校区の要望の中でも、中学校問題とリンクすると長引くこととなるから、運動公園付近の意見が出たのではと考えている。32 年度の移転を必ず行うということで、中学校の北側が地権者 2 人であり、買収も進むのではと、また、海拔も高いことなどから提案しました。</p>
委員	グラウンドを共有して使用するのが気がかりである。
事務局	<p>今、体育の時間数は、非常に少なくなっている。中学校 3 学級、小学校 6 学級の 9 学級で体育館、運動場を使うことを考えたときに、この規模の小学校は、中規模の学校で体育館、運動場を使用しているので、時間割を工夫することにより可能と考える。行事的にも新しい学校として運動会、体育大会を別々にしていたものを統合した形の活動にすることもできる。</p> <p>新しい学校のイメージでその当たりのことを工夫していける小中の連携を高める学校運営の工夫のしどころと考える。</p> <p>中学校の部活動は、体育館では、バレーボール、卓球、剣道が活動し、</p>

	バレーボールが半分、卓球と剣道が4分の1を使用しているわけですが、卓球、剣道の場所を工夫しながら、年間の後半に小学校のバスケットの部活が入ってきますので、小中がローテーションを組みながら使っていく、あるいは、2分の1ずつ使用することなど運営の方法により調整できると考えております。
委員	3案の費用が抑えられる、体育館の共用することは分かるが、中学校が動いた場合、小学校はそのままこの体育館を使用するのか。
事務局	今の体育館が使用できる期間は、使用する考えです。
委員	小中で体育館の規格等が違っていて、小学校だけになった場合に手を入れることにならないか。
事務局	改修が必要になれば改修をしていく。
委員	運動場や体育館はいいのですが、プールの件が気になります。プールはどのように考えているか。
事務局	プールは、建設する予定です。
委員長	山のふもとの辺りで、地目が山林の方が安く手に入る場所があると小塩津の人から話があったが、どこの学校でも校舎と運動場はつながっているのか。離れた学校はあるのか。
事務局	3案を見ると岬中学校の校舎の前に運動場があり、小学校の校舎は、中学校の校舎の北側になり、小学生にとっては、向こう側に運動場がある配置になるので、不都合になるのではとのことですか。
委員長	山の少し離れたところに、保養所の計画があった土地があるように聞いた。地目が山林で風もなくいい場所と聞いた。
事務局	第4案ということですか。 あの場所は、校舎が山を背に建てることができないこと。
委員	その場所ではなく、岬中のもっと北側の場所です。
事務局	それで離れた場所での運動場という質問でしたか。 将来的に、岬中学校が移った場合に中学校の校舎のところを運動場にするので、目の前が運動場になる。現在の中学校の運動場が借地であるのでそれを返還することになる。
委員	体育の授業は、調整できると思うが、小学校と中学校の部活動が一緒にできるのか心配だ。
委員	中学校の部活動で運動場は、目一杯使用している。新しい学校を建設するなら、運動場を整備して欲しい。
事務局	整備できればいいわけですが、3小学校が廃校となります。利用できる施設は、有効利用を考えて行きたい。
委員	内容は分かるが、中学校の統合問題が進まないと中学校は残ったままになりますよね。
委員	岬中は、避難所になっているので、2案になると避難所がどうなるのか、考慮して欲しい。

事務局	2 案の運動公園付近に小学校ができた場合で、学校再編により岬中がなくなったときは、別に避難所を指定することになると考える。 避難所は、集落からあまり離れないほうが良いと考える。
委員	先ほど意見のあった体育館、運動場共用の部活動の件ですが、例えば小学校の陸上と中学校の野球部が同時に使用することは、可能なのか。同時に利用したときには、事故など起きないか心配、対応はどうか。
事務局	他の学校でも部活動は、運動場を調整しながら使用しているので、事故が起きないように調整するので、可能と考える。
委員	その利用方法について、保護者などに示して理解を得て欲しい。
事務局	サブグラウンド的な施設を設けて、陸上など利用ができるかの検討もできると考える。どのようにグラウンドを利用してどんな活動を展開するときには共用が可能かなど、具体的な詰めはしていないので、今上げていただいた課題を踏まえて検討したいと考えています。
委員	第 3 案の方向で進んでいるのか。
事務局	今は、運動場、体育館の部活動の利用についての問題を話し合っていて、決まったことではない。
委員	建設時の騒音などは、問題にならないか。
事務局	工事では、基礎工事、パイル打ちが一番音がでる。その時期を夏休みにするなどの調整はできる。その他の工事は、そんなに大きな音は出ないと考える。
委員	第 3 案と第 2 案を比べて、面積が 2.5 倍多いが、この多いのは、体育館と運動場の関係と考えるが、3 案の岬中北側に土地は確保できるのか。
事務局	将来のことを考え、岬中学校が移動した場合を考え、移ったときに全体を小学校として利用することになるので、今回の 3 案の提案とした。
委員	将来のことということですが、まだ、中学校の統合問題は未定ですよ。
事務局	現在、中学校の再編問題は検討中です。平成 32 年度の新設小学校建設まで 5 年ですので、その間も進めたいと考えている。
委員	8 校区の状況はどうか。
事務局	3 月末には、方向性がまとまると聞いている。野田中は、田原中への統合についての報告が、近々あると聞いている。この動きもあるので、8 校区として、3 中学校を 1 校にとか、もう少し具体的にとか協議している段階と聞いている。
委員	新しい学校の移転先は、標高の高いところへとなっているが、岬中北側の高さは。
事務局	22m 程度である。
委員	3 案の各校区への説明会は、どこが主催となるか。
事務局	教育委員会が主催する。3 校区一緒とか各校区ごととか、皆さんの意見を聞いて決めて行きたい。
委員	平成 32 年度を目標とすると現実的には、3 案しかないのか。

事務局	多くの地権者があるところでは、用地確保に年数がかかると考えるので、用地については、1, 2 年で決着しないと平成 3 2 年度開校は、できないと考える。
委員	堀切の住民説明会で平成 3 2 年度がずれてもいいから渥美運動公園付近に建設して欲しいという意見も多くあったと思う。また、3 校区での意見集約により新設校の候補地を決定しているので、その人たちにどのように説明していくのか。
事務局	3 2 年度を過ぎても良いという人、和地にいつまでもいるのはという人などいろんな意見があるので、直接そういった説明をしていくことが必要と考える。
委員	用地決定までのプロセスは、どのようになるのか。
事務局	夏までには、次年度の予算要求までに決めたい。先ほどの運動場の共用に対する心配な点などに応え、納得してもらって決めたい。
委員	2 案運動公園付近にこだわる理由は何か。
委員	地元の要望書において決めた場所であること。運動公園付近に決めたのは、近くに保育園もあり新しい場所ではじめたい。あの辺りを教育関係の場所にしたいと考えてのこと。 また、中学校の再編問題が同時進行していたこともあって、中学校の跡地では、新しい学校が何時になるか分からない点もあったためと考えている。現在の状況は、その当時とは状況が違っているので、説明をすれば地元の住民の考えも変わるのではと感じている。
事務局	中学校が動かないと小学校ができないと地元の皆さんが考え、それなら小学校と中学校を切り離して、新設場所は運動公園付近への要望となったと考えている。
委員	岬中学校を動かすというより、少子化により子どもの数が減ってきているので、渥美 8 校区で一つの考えで進めているんですね。
事務局	中学校の方向性について手順時間がかかるので、岬中が早めに移ることができないなど心配があることなどから、渥美運動公園付近へ持っていこうということになった。
委員	要望書を出すまでの住民の考えは、当初、中学校をどこかに移して小学校を造るということで進んでいた。
委員	小学校の場所が保育園のところになるか中学校のところになるか距離的には遠くないのであまり変わらない。地権者 2 0 人のところでは、用地確保に 5 年 1 0 年かかってしまうので、どうかと思う。
委員	市教委からそういったことも含めて、校区の説明会の場で説明してもらおう。
委員長	候補地の説明会については、3 校区別々に説明会を開催してもらいたい。新設校の場所については、説明会後に継続で協議していくことでお願いいたします。

委員	先ほどの事務局の話の中で岬中の北側に運動場を確保するとすると 2 人の地権者ではなくなりますね。
委員	中学生の部活が運動公園施設を使えばそんなに遠い距離ではないので、利用は可能ではと考える。
事務局	それも検討課題の一つです。テニスも運動公園テニスコートを利用することも可能、野球もバレーボールも利用しているので心配はないと考える。
委員	保育園の役員で話し合ったときに、中学校の問題がどのようになっているか知りたいという意見があった。3 案で小学校が中学校の北側に併設した後の中学校の問題が、まだ決まってないわけですね。中学校の問題がどのように決められていくのか。
委員	8 校区の校区会長で協議していますが、結論には至っていない。3 つの中学校がまとまって一つになるのか、一つにする場合に場所はどうするのか、福中へいくのかなど、新たに運動公園付近に建設した場合は、泉校区から遠くなるので反対もあるなど、統合に向けて話し合いはしているが、結論はでていない。
委員	8 校区で協議した内容を、各地区へおろしていくのか。
委員	そういうことになる。
委員	中学校をどうするのか早い時期に結論を出して欲しい。子どもたちにかかわってくるので、結論が出ないのは不安になる。
委員	期限は示すことができない。岬校区は小学校の再編で集まる機会が多いが、泉、福江、中山にしても温度差があって校区の中で再編についてあまり話題にならない。泉校区が P T A、保育園保護者などに意見を聞いている状況で、まだ校区として結論が出ていない。
委員	岬校区、泉校区は、統合に向けて話し合っているが、福江中は当面問題ないので積極的でないのでは。
事務局	先ほど校区会長からもあったように、地域によって温度差はあります。岬 3 校区は、なるべく早めに統合し新しい学校を設置したほうが良い、泉は、野田が田原中へ行くことから、以前は赤羽根にとか野田にとかあったが少なくなってきたり、もう一度議論しようとなっている。これがまとまるには時間がかかる。中山、小中山の方は関心が薄いので、積極的でない。福江は、旧渥美町で 1 本になって維持していこうという考えで、取り組んでいる。このような状況であるので、方向性はまだでない状態。ただ、8 校区の会長は、今年度末までには方向性を出していく意向で進めている。
委員	8 校区の中で新しく一つの学校を建設することになるとか、当初に岬は福江にいくとか、話し合いがまとまらないときには、岬が福江に統合になるのが心配。そういうことはないのか。
事務局	いきなりこれでいくという極端な方法になることは、ないです。

	まとまらないときには、改めて校区と調整・協議していくこととなる。
委員	当初は、新たな中学校を建設したらとかの案もあったが、だんだん、お金がないとか聞くと不安になる。新しい学校ができるよう方向性を固めて行きたいと考える。
委員長	ほかにないようですので、候補地についての説明会については、各校区で相談の上、説明会の期日等について決定していただきたいと思います。 それでは、会議前に現地を見学いただき、和地小学校長藤城校長から説明がありました、和地小学校の急傾斜地対策について質問等ございましたらお願いします。
委員	和地小の裏山の急傾斜地の扱いについて、各校区の学校候補地の説明会において、説明をお願いしたらどうか。
委員	特に伊良湖校区は、心配する声が多いので、急傾斜地の関係の説明をお願いしたい。
委員長	市教委で説明をお願いします。
委員	和地小の裏山を削った場合、危険は増すのか。
委員	表土を動かすことにより流れやすくなる。 がけ崩れの専門家ではないが、山を削った場合には強度が下がると考える。
委員	草木を採った方が水が出やすいのでは。
委員	掘り返したら、安定するまで待つことになる。 昭和 52, 3 年のときにはほとんど木が茂ってなかった。地層が確認できた。植生が茂るまでには、相当の期間がかかる。
委員	和地の山の火事から今の状態になるまで、相当の時間がかかっている。
委員長	ほかにございませんか。 次のその他何かありましたらお願いします。
事務局	(なし)
委員	教育課程部会からお願いします。 教育課程部会は、学校内部の案件を協議します。校長から教頭、教務、校務、事務職員まで、項目を割り振って協議します。1 月中にそれぞれの部会でどのようにするのか指示を出しますので、各部会で主任を決めて進めていく予定になっています。
委員長	ありがとうございます。 ほかにありますか。
委員	P T A 部会からお願いします。 P T A の会則について各校の内容を把握し、新しい会則の調整をしている。スクールバスの運行計画についての問題点などや夏の体操服の選定をしている状況です。
委員長	報告ありがとうございます。 他の部会も年度中には開催するようお願いします。

委員	地域部会の跡地利用については、2月にコミュニティ理事会が予定されている。そのときの市の対応は、1校区1コミュニティであり、市民館や市民館主事の問題がある。すぐに決められない状況。集会場や避難所とかいろんなことに関係する。市の方向性が出ないと地元で進められない問題。市と並行して検討していくことになると思う。
委員	急傾斜地ですが、必ず崩れない保証はあるのか。 崩れないようにぼっそり削るとかできないか。30数度の傾斜を30度程度にすれば、急傾斜地は解除されるが、それ以上に削ることはできないか。
事務局	先ほどの資料の断面図を見ると、30度よりも大きく削るとなると、頂上付近までに削ることになるので、大きな工事となるので、対応できない。
委員	事故が起きたときの責任の所在はどうか。
事務局	土木は、崩れた場合でも校舎で止まる。崩れたとしてもわずかと聞いている。
委員	校舎の位置は、斜面の2倍の長さを取ってある。少し足りないかもしれないが。大きく崩れるのかずるずるすべるのか。地震や大雨のときに起こるかどうか。大雨の時には、子どもたちは学校にはいないですよ。 今までの過去の例を上げ、説明すると、こういうことで危険ではないと考える。保障はできないのでは。
委員	大草のほうの崖のようにがさっと崩れるような土ではないので、逃げることはできるのでは。
委員	愛知県土木からの急傾斜地の扱いについての説明は、避難できる範囲で、イエローゾーンで地元の人への注意喚起するための措置であるとのことだった。
事務局	これについては、各校区の説明会の中で個々に説明していく。特に伊良湖については。
委員	学校が廃校になるまでに、卒業生など子どもたちに見学する機会を設けて欲しい。
事務局	そのようなことは、実施を検討したい。
委員長	いろいろなご意見ありがとうございました。 ないようですので、次回の開催日程については、2月19日午後7時から和地市民館で開催しますので、よろしくお願ひします。
委員長	本日の協議事項は、すべて終了しました。 以上をもちまして、第2回の会議を終了いたします。 ご協力ありがとうございました。